平成29年度 広域農林水産業振興の取組について

平成30年1月20日 広域産業振興局農林水産部



関西広域農林水産業ビジョン(H25年11月策定)のポイント

関西農林水産業の現状認識

【現状と特徴】

多様な 農林水産物

歴史と伝統あ る食文化

大消費地が 内在

【課題】

所得の減少、 不安定化

就業者の減少、 高齢化

牛産基盤の 弱体化

関西農林水産業が目指す将来像(20~30年後)

歴史と伝統ある関西の食文 化を支える農林水産業

- 食文化は関西のアピールポイント
- 多様な農林水産物の域内外への 供給を強化・拡大
- ・ 食文化の海外発信により需要を 拡大

関西の食文化と域内外の消費を 支える農林水産業へ

異業種と連携した競争力あ る農林水産業

- 商工業や医療・福祉等、多様な 産業との連携
- 大学等研究機関との連携
- ・6次産業化の推進
- ・企業等の参入促進

付加価値の高い商品開発や国内 外への販路拡大へ

都市と共生・交流する活力溢 | 多面的機能を発揮する関西 れる 農林水産業・農山漁村

- ・直売所やマルシェ、観光農園、 農家民宿等により安全・安心な 食材提供
- グリーンツーリズムや市民農園 等の推進
- ・都市部からの移住・定住

都市と農山漁村が互いの魅力を 分かち合う関係へ

の 農林水産業・農川漁村

- ・水源かん養、国土保全、景観 形成等、様々な役割
- 都市農業においては緑地空間 の提供等
- 多面的機能は都市を含む全て の住民が享受

府県市民が多面的機能の認識を 共有し、基盤の保全へ

将来像の実現に向けた6つの戦略(今後10年)

地産地消運動の推進による域内消費拡大 食育による啓発、学校給食での利用促進、直売所間の連携促進等 により、エリア内農林水産物の広域圏内での消費拡大を推進

戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

観光・文化振興分野と連携し、食文化と農林水産物をセットにし たプロモーション、訪日外国人を農山漁村に誘致すること等を通 じ、関西食文化とそれを支える農林水産物の素晴らしさをPR

戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大

広域内の高品質で競争力ある農林水産物と加工品について、スケ ールメリットを活かした効果的な情報発信、プロモーションによ り、国内外に販路を拡大

戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争 力の強化

府県市域を越えた農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等 により、6次産業化、農商工連携をすすめ、域内農林水産物を活 用した新たな商品開発と販路開拓を促進

戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

農林水産業に関する就業相談会、各府県農業大学校の連携、林業 大学校の広域での活用等により、後継者はもとより、都市住民の 新規参入、法人経営体への就業促進等、多様な就業者を育成・確

戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的 機能の保全

農山漁村の魅力や多面的機能のアピール、市民農園等のあらゆる 空間での実践の促進により、食と農林水産業への理解の醸成、都 市と農山漁村の交流等につなげ、農山漁村の活性化・多面的機能 の保全

ビジョンの実現に向けた関西広域連合と構 成府県市の役割

戦略の推進にあたっては、関西広域連合はシナジー効果が見 込まれる事業など、その枠組みにおいて実施可能な範囲で役 割を果たし、各地域の特徴・実情を踏まえた事業は個々の構 成府県市が取り組む

平成29年度事業の概要

(基本方針)

関西広域連合では、各構成府県市におけるこれまでの農林水産業に関する振興施策を充分に尊重し、かつこれらの施策と連携しつつ、府県市域を越えた行政組織であるという新たな視点と立場から、農林水産業を成長産業として位置付け、関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成・振興する。

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大

- 1「おいしい!KANSAI応援企業」の登録
- 2 学校への特産農林水産物利用促進のための啓発
- 3 直売所の交流促進
- 4 2017食博覧会·大阪でのPR

戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

「関西の食リーフレット」の作成

戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大

- 1 国内外への販路拡大につなげる効果的な情報発信
- 2 事業者向け食品輸出セミナーの開催

戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる競争力の強化

府県市を越えた6次産業化や農商工連携の推進

戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

- 1「関西広域連合農林水産就業ガイド」の作成
- 2 「農林水産就業促進サイト」の開設

戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全

- 1「都市農村交流サイト」の開設
- 2 都市農村交流のための人材育成

地産地消運動の推進による域内消費拡大(1) 戦略1

「まず地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、特産農林水産物のエリア内での消費 拡大を図る。

1 「おいしい!KANSAI応援企業」の登録

(ア)「おいしい! KANSAI応援企業」の登録

広域連合が取り組む地産地消運動の趣旨に賛同する企業等を、 "おいしい!KANSAI応援企業"として登録し、社員食堂や職員食堂 でのエリア内特産農林水産物を使った料理の提供を通じて消費 拡大を図る。

参考) 登録数 77(H29.12月末現在)

(イ)「おいしい!KANSAI応援企業」紹介ページの作成

登録企業の社員食堂のメニュー紹介をはじめ、CSR活動、社風、 社員の声などを取材形式で紹介するページを広域連合ホームページ 内に作成する。

参考)ホームページ掲載数 22(H29,12月末現在)

主な登録企業

- •西日本電信電話株式会社
- ·関西電力株式会社
- •(株)近鉄百貨店
- •(株)紀陽銀行
- ホテルアバローム紀の国
- ・和歌山大学 ほか



3年、大阪市で創集された株式会社カブコン。家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンジおよびアミュースパント機器等 造、販売、配信ならびにアミュース・カント施設の適富を行なっており、資本金332億39百万円、売上270億21百万円(2015年度実施





「おいしい!KANSAI応援企業 |紹介ページ

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(2)

2 学校への特産農林水産物利用促進のための啓発

(ア)関西広域連合給食の試食会開催

「関西広域連合給食レシピ」の導入促進を図るため、構成府県市の学校栄養士等を対象に試食会を開催するとともに、「学校給食で利用可能な特産農林水産物リスト」や「産地ならではの料理方法」を示してエリア内特産農林水産物の利用を啓発する。





関西広域連合給食レシピ集

参考)実績 H29 給食試食会を6回開催(延べ162名)(H29.12月末現在)

H28 同上 10回開催(延べ264名)

H27 同上 14回開催(延べ352名)

H26 給食レシピ集作成(6プレート開発)

域内すべての小中学校等へ配布(5,000部)

(イ) 出前授業による特産農林水産物の啓発

生産者団体が実施する府県域を越えた出前授業の取組を促進するため、広域連合が受け入れ希望校とのマッチングを実施する。

参考)実績 H29 4小学校で実施(H29.12月末現在)

H28 8小学校で実施

H27 7小学校で実施

H26 7小学校で実施

H25 2小学校で実施



学校栄養士を対象とした啓発



JAによる出前授業風景

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(3)

3 直売所の交流促進

(ア)関西広域連合によるマッチング

直売所の集客の増加とエリア内特産農林水産物の消費拡大を図るため、広域連合が直売所間交流のマッチングを行う。

参考)実績 H29 6直売所で14回実施(H29.12月末現在)

H28 7直売所で14回実施

H27 9直売所で10回実施

H26 7直売所で 8回実施



直売所交流によるイベント

(イ)直売所マッチングサイトの改良

インターネット上で直売所同士が商談などを行うマッチングサイトの利用を啓発するとともに、「おいしいKANSAI!応援企業」の社員食堂が食材購入の際に利用できるようシステムを改良する。

参考) 登録会員数 47(H29.12月末現在)



直売所マッチングサイト

戦略1 地産地消運動の推進による域内消費拡大(4)

4 2017食博覧会·大阪でのPR

新規

構成府県市が出展するブースを「広域連合広場」として集め、共通装飾を行うとともに、購入者に各府県の特産品が当たる「おいしいKANSAI応援キャンペーン」を実施する。

参考)開催期間 平成29年4月28日(金)~5月7日(日)の10日間 実績 来場者数(全体) 62万人 出展者数(広域連合広場全体) 38 キャンペーン応募数 920 当選者 100



関西広域連合ブース



関西広域連合広場



おいしいKANSAI応援キャンペーン

戦略2 食文化の海外発信による需要拡大

関西全体の食文化のすばらしさを高品質で多様な農林水産物・加工品の情報と合わせて海外に発信することにより、需要の拡大につなげる。

「関西の食リーフレット」等の活用

関西の農林水産物・加工食品及び食文化の情報をリーフレットやHPを通じて海外へ発信する。

参考)実績 H29 リーフレット増刷 6,000部(H29.12月末現在)

H28 同上 6,000部 H27 同上 3.000部

H26 リーフレット作成(英語、中国語) 6,000部







リーフレット

戦略3 国内外への農林水産物の販路拡大

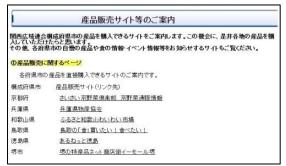
関西の魅力ある農林水産物の効果的な情報発信や輸出に向けての機運醸成を図るセミナーを開催し、国内外への販路拡大につなげる。

1 国内外への販路拡大につなげる効果的な情報発信

構成府県市が実施する海外プロモーションなどのPRイベントで、「関西の食リーフレット」を配布する。

参考)実績 H29 リーフレット6,200 部配布 (H29.12月末現在)

> H28 同上 3,900部配布 H27 同上 5,100部配布 H26 同上 1.500部配布







香港フードエキスポ2016

2 事業者向け食品輸出セミナーの開催

食品輸出の機運を醸成し、意欲のある事業者に有益な情報を提供するため、食品輸出セミナーを開催する。

参考) H30.1.26に大阪市内で食品輸出セミナーを開催予定 実績 H28 セミナー1回開催(参加者90名)



食品輸出セミナー

戦略4 6次産業化や農商工連携の推進などによる 競争力の強化

広域での農林水産業と異業種・異分野とのマッチング等により、府県域を越えた6次産業化や農商工連携を促進し、新たな商品開発や販路開拓を進めることで競争力の強化を図る。

府県市を越えた6次産業化や農商工連携の推進

新規

農林漁業者が府県市域はもとより、必要に応じて府県市域を越えた商工業者とマッチングできるよう、府県市が実施する農林漁業者と商工業者との異業種交流会等の開催計画を、広域連合がホームページ等で広報協力する。

参考)実績 H29 3件掲載(H29.12月末現在)

広域産業振興 農林水産

6次産業化と農商工連携の推進

関西広域連合農林水産部では、農林漁業者の方々が府県市域はもとより、必要に応じて府県市域を越えた商工業者とマッチングできるよう、府県市が実施する農林漁業者と商工業者との異業種交流会等の開催計画を広報協力しています。

このベージでは、府県域を越えて参加可能な異業種交流会等の開催情報を掲載しています。

【徳島県開催(1)】

『「もうける」アグリビジネス推進セミナー&交流会」が開催されます!

徳島県には、なると金時、すだち、ワカメなどの特産物が多数あります。

県産農林水産物や地域資源を使った新商品開発、販路開拓に取り組む農林漁業者および各種事業者を対象 に、新たな取組や新たな連携を創出することによる「もうける」ための交流会を開催します。

【日時】平成29年12月12日(火) 10:00 - 16:00

【会場】ザ・パシフィックハーバー(徳島市中洲町3-5-1

戦略5 農林水産業を担う人材の育成・確保

広域連合エリアへの農林水産業の就業を促進するため、府県市が持つ情報や就業支援 データの相互融通を行うことにより、新規就業希望者への迅速な情報発信と効率的な人材確 保につなげる。

1 「関西広域連合農林水産就業ガイド」の作成 (

拡充

昨年度農業分野で作成した「就業ガイド」を林業・水産業分野でも作成し、広域連合エリア外で各府県市が実施する就業相談会やホームページでPRする。

2 「農林水産就業促進サイト」の開設

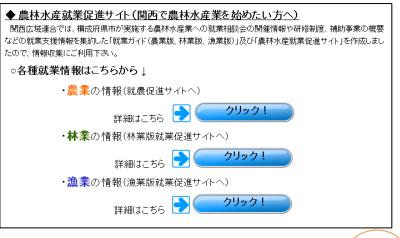
拡充

広域連合ホームページ内に開設している「就農促進サイト」を、林業・水産業分野にも拡大する。

参考)H29.11.30 農林水産就業促進サイトを開設







各種就業ガイド農林水産就業促進サイト

10

戦略6 都市との交流による農山漁村の活性化と 多面的機能の保全

地域の活性化と多面的機能の保全を図るため、情報発信やイベントの開催等を通じ、都市農村交流活動を促進する。

1 「都市農村交流サイト」の開設(

新規

構成府県市の優良事例紹介をはじめ、域内の交流施設等を紹介するサイトを広域連合ホームページ内に開設し、情報を発信する。

2 都市農村交流のための人材育成

新規

(ア)アドバイザー人材バンクの構築と派遣

都市農村交流に関する知見を有する人材を登録する「アドバイザー人材バンク」を構築し、 地域からの要請に応じ、アドバイザーを派遣する。

(イ)情報交換会の開催

アドバイザーや都市農村交流実践者等による情報交換会を開催する。

参考)実績 H29.8.21に都市農村交流フォーラムを開催(参加者76名)

